

ティーチング・ポートフォリオ

健康科学大学 健康科学部 理学療法学科

教授 成 昌燮

1. 教育の責任

2023 年度

科目名	時期		受講者
病理学	後期		152 名
人体の構造と機能 1	前期		56 名
異文化比較論	前期		56 名
基礎韓国語	前期		31 名
はじめての韓国語会話	前期・後期		31 名
解剖学実習	前期		96 名

2024 年度

科目名	時期		受講者
病理学	後期		138 名
人体の構造と機能 1	前期		62 名
異文化比較論	前期		43 名
基礎韓国語	前期		21 名
はじめての韓国語会話	前期・後期		55 名
解剖学実習	前期		76 名

・授業外活動

本学での授業の他に、以下のような活動をしている。

- 1) 日本解剖学会 委員
- 2) 日本中国語学会 委員
- 3) 日本韓国語教育学会 委員
- 4) 図書館・紀要編集委員会 委員

2. 教育の理念・目的

本学の基本理念は「豊かな人間力」、「専門的な知識・技術力」、「開かれた共創力」の三つを兼ね備えた人材を育成することであり、我が国の医療・保険・福祉の分野で、国民のニーズに的確に対応しうる人材の育成を目的としている。

大学の専門基礎科目は、学生が自身の専攻分野における基本的な知識とスキルを習得するための重要な要素である。これらの科目は、学生が専門分野で深く理解し、成長していくための基盤を築く上で重要な役割を果たす。

専門基礎科目は、その分野の基本的な概念や理論を学ぶ機会を提供する。これによっ

て、学生は専攻分野の基本的な知識を習得し、その後の高度な学習や研究に必要な理解を深めることができる。

各分野には専門的な用語や用語体系が存在する。専門基礎科目においては、これらの専門用語を習得する機会がある。これによって、学生は分野内でのコミュニケーションや知識共有がスムーズに行えるようになる。

基礎科目は、応用力を養成するための基盤を提供する。基本的な理論や原則を理解した上で、実際の問題に対してどのようにアプローチすべきかを学ぶことで、学生は将来的な実務や研究において効果的な応用が可能となる。

また、大学において第2外国語を学習することは、多くの面で重要な意義を持つ。第2外国語を学ぶことにより、異なる文化や価値観に触れる機会が広がる。これによって、国際的な視野を拡大し、異なる背景を持つ人々とコミュニケーションをとる際の理解力が向上する。第2外国語の学習は、異なる言語構造や文法を理解する機会を提供し、自身の母国語や第1外国語の理解も深まり、言語能力全体が向上すると思う。

3. 教育の方法

・基本的な概念の理解の授業

まず学生に病理学の基本的な概念や用語を理解させることが重要である。細胞の病理や病態生理学など、基本的なテーマについて徹底的に解説し、学生たちが疾患の基本的なメカニズムを理解できるようにしている。実際に臨床症例や病理検査の結果を取り上げ、それらを解析することで、理解度を向上させるように工夫している。

・授業終了直前に小テストを実施

小テストは、学生たちに授業で学んだ内容を復習する機会を提供する。授業終了までの期間に学習したことを確認することで、知識の定着や理解を促進する助けとなる。小テストの結果を元に、学生たちにフィードバックを提供することもできる。次回の授業で小テストの結果を示し、正誤や誤答の理由について説明している。

・第二外国語授業

異文化理解を深めることで、国際的な視野を広げることができる。他国の文化や習慣を学ぶことで、グローバルなコミュニケーション能力が向上する。文学や音楽など、他言語での表現を楽しむこともできる。第二外国語の授業は、個人の成長や社会での活躍において非常に重要である。国際化が進む現代社会において、言語スキルはますます必要とされている。

4. 教育の成果・評価

教育の成果と評価は、教育システム全体の品質向上と学習者の成功を促進するためにかかせない要素であり、適切な計画と実施が重要である。また、教育評価は常に進化し続ける

領域であり、新しい方法やテクノロジーが導入されていくことが期待されている。

本学では、FD 委員会によって授業評価アンケート実施している。評価点と学生のコメント内容確認し、教材の変更や内容の省略などで学生にわかりやすく伝えるように工夫している。

・病理学(3 学科を担当)

2020 年から新型コロナウイルス感染症によりオンライン授業形式変わり、いくつかの難しさや課題も存在する。インターネット接続の不安定さ、コンピューターのトラブル、オンラインプラットフォームの障害、教員本人の操作知識不足によるミスなどである。これらの問題が学習プロセスを中断させることがあった。結果、学生による評価もよくなかった。

2021 年からマスク着用による対面授業形式に変更し、授業終了前の小テストを行い、学生の達成度確認し、次回に小テストにいて解釈を行った。その結果、学生からの評価がよく、いいコメントもあった。

・第2 外国語(基礎韓国語、はじめての韓国語会話)

第1 外国語より、ほとんど学習経験なしで、発音の仕方(口の開型)、文字の書き方、書き順なども直接見て指導しなければならない。

新型コロナウイルス感染症により、韓国ドラマや音楽を楽しむことがブームなり、韓国語を履修する学生が増えたように思える。韓国語を覚えて韓国旅行に行きたいという学生がよく見られた。

5. 今後の目標

短期目標：

- ・**授業計画の改善:** 次の学期や学年のために、既存の授業計画を見直し、改善点を特定する。
新しい教材やアクティビティの導入を考え、学生の学習体験を向上させるための具体的な変更を実施する。
- ・**評価方法の改良:** 学生の評価方法を見直し、公平かつ有効な評価基準を確立する。評価基準を明確にし、評価の透明性を高め、学生のフィードバックを収集し改善点を特定する。
- ・**学生とのコミュニケーション:** 学生とのコミュニケーションを強化し、オフィスアワーを効果的に活用して、学生が質問やアドバイスを求めやすくする。また、メールやオンラインを通じてコミュニケーションを円滑に行う。

長期目標：

- ・**教育方法の研究と発展:** 自身の教育方法を継続的に改良し、最新の教育理論やテクノロジーを組み込む。教育研究に積極的に取り組み、論文の執筆や学会発表を行う。

- ・**学生の成果追跡:** 学生の成績やキャリアの発展を追跡し、自身の教育の成果を評価する。学生の進捗を把握し、必要なサポートを提供することで、彼らの成功を支援する。
- ・**ティーチング・ポートフォリオの継続的な更新:** ティーチング・ポートフォリオを定期的に更新し、自身の教育の成長と変化を文書化する。教育の経験、実績、フィードバックを追跡し、将来のキャリアに活かすために維持する。